

製品説明

概要

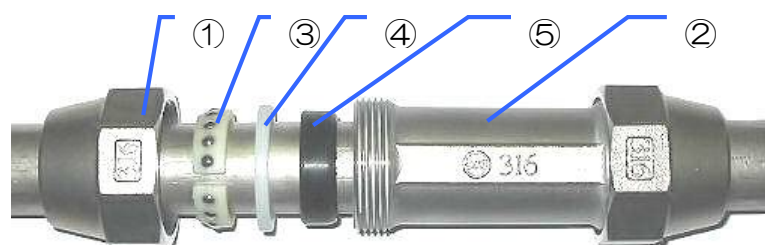


BMJ型は、日本水道協会規格JWWA-G116の検査・試験に適合した[伸縮可とう式]の製品群です。

ステンレス鋼管との接合は、管への[溝付け][溝付け無し]どちらでも使用可能です。

また、BMJ型継手一体型のステンレス製ボール止水栓は、日本水道協会規格JWWA-B140ステンレス止水栓の検査・試験に適合した製品です。

構造



No.	部品名
①	ステンレス(SCS14)製ナット
②	継手本体(SCS14)
③	管止め金具
④	カバー(押し輪)
⑤	ゴムパッキン

ステンレス製ナットを締め付けることにより、カバー(押し輪)がゴムパッキンを継手本体内部側と管に圧着させ、水密性を保持します。同時に、管止め金具のボールを管に食い込ませ、管の抜け出しを阻止します。

性能

性能項目	性能	判定	性能項目	性能	判定								
胴の耐圧性	水圧2.5MPa、保持1分、漏れその他異常なし。	合格	引抜阻止性	空気圧0.6MPa、引張り速度2mm/min、漏れ発生まで引張り、引抜阻止力規格荷重内。	合格								
胴の耐漏れ性	空気圧0.6MPa、保持5秒、漏れなし。	合格											
耐圧性	水圧1.75MPa、保持1分、漏れなし、抜出し量1mm以下。	合格											
耐負圧性	減圧54kPa、保持2分、吸込みその他異常なし。	合格											
伸縮性	空気圧0.6MPa、0mm~15mm~0mmの引張り戻し、2回繰返し、漏れその他異常なし。	合格											
可とう性	可とう角2.2°以上。	合格											
耐内圧繰返し性	0MPa~4MPa~0MPaの加減圧、1500回、漏れその他異常なし、抜出し量1mm以下。	合格											
耐振動性	水圧1.75MPa、振幅±2.2°、振動周期100~150回/min、20000回、漏れ抜けその他異常なし。	合格	浸出性	浸出性能基準に適合。	合格								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>[規格値] 引抜阻止力 (kN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>12.7~18.8</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>13.7~19.8</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>13.7~19.8</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>13.7~19.8</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>13.7~19.8</td> </tr> </tbody> </table>		呼び径	[規格値] 引抜阻止力 (kN)	20	12.7~18.8	25	13.7~19.8	30	13.7~19.8	40
呼び径	[規格値] 引抜阻止力 (kN)												
20	12.7~18.8												
25	13.7~19.8												
30	13.7~19.8												
40	13.7~19.8												
50	13.7~19.8												

適用管種

* ステンレス配管用継手・止水栓に適用

- 水道用ステンレス鋼管(JWWA G115)
- 一般配管用ステンレス鋼管(JIS G3448)
- 水道用波状ステンレス鋼管(JWWA G119)

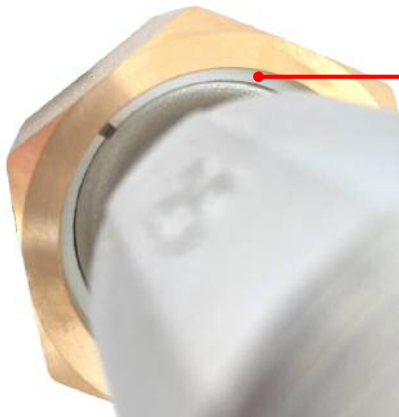
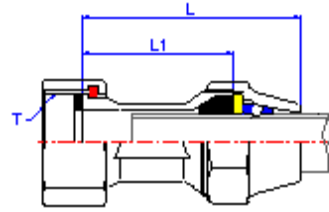
* 異種管接続用継手[BMJ-AVS]に適用

- 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB/VD(JWWA K116)
- 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PB/PD(JWWA K132)
- 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 VP(JIS K6742)
- 水道用耐衝撃硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP(JIS K6742)
- 水道用ポリエチレン 1種・2種二層管 PE(JIS K6762)

品 種

絶縁分止水用ソケット [型式；BMJ - PIB] ※平パッキン付属

JWWA G-90



絶縁ストッパー

部品一つで二種の性能を保持

- 優れた絶縁性能
- 強靱な離脱防止性能

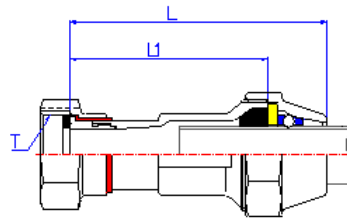
(mm)

呼び径	継手寸法		
	L	L1	T
20N×20	95.0	71.0	G1
25N×20	95.0	71.0	G1-1/4
25N×25	97.0	73.0	G1-1/4
30N×30	98.0	76.0	G1-1/2
40N×40	97.0	75.0	G2
50N×30	92.0	70.0	G2-1/2
50N×40	92.0	70.0	G2-1/2
50N×50	92.0	70.0	G2-1/2

絶縁分止水用ソケット [型式；BMJ - DIB] ※平パッキン付属

JWWA G-90

*絶縁＝異種金属接触腐食防止の意を指す。



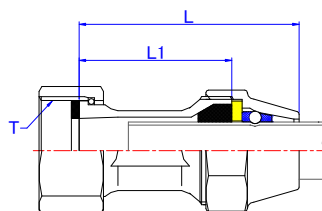
※金門ねじ(W)をご用命の場合はこの型式になります。

(mm)

呼び径	継手寸法			
	L	L1	T	
20N×20	113.0	89.0	G1	W33-14
20N×25	113.0	89.0	G1	W33-14
25N×20	92.5	68.5	G1-1/4	W39-14
25N×25	113.0	89.0	G1-1/4	W39-14
30N×30	119.0	97.0	G1-1/2	W49-11
40N×40	117.0	95.0	G2	W56-11
50N×50	117.0	95.0	G2-1/2	-

SUS 分止水栓ソケット [型式；BMJ - PF] ※平パッキン付属

JWWA G-90

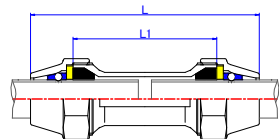


(mm)

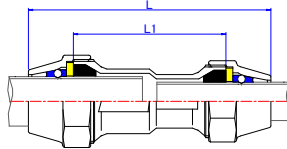
呼び径	継手寸法		
	L	L1	T
25N×20	83.0	59.0	G1-1/4
25N×25	89.0	65.0	G1-1/4
40N×40	97.0	75.0	G2
50N×30	92.0	70.0	G2-1/2
50N×40	92.0	70.0	G2-1/2
50N×50	92.0	70.0	G2-1/2

ソケット [型式 ; BMJ - S] JWVA G-90

異径ソケット [型式 ; BMJ - RS] JWVA G-90



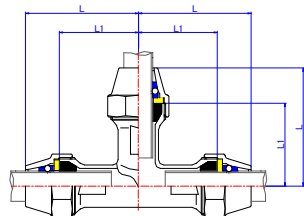
呼び径	継手寸法 (mm)	
	L	L1
20	136.0	88.0
25	136.0	88.0
30	146.0	102.0
40	146.0	102.0
50	146.0	102.0



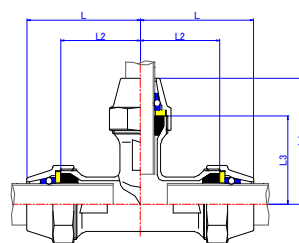
呼び径	継手寸法 (mm)	
	L	L1
25×20	136.0	88.0
30×20	141.0	95.0
30×25	141.0	95.0
40×20	141.0	95.0
40×25	141.0	95.0
40×30	146.0	102.0
50×25	141.0	95.0
50×30	146.0	102.0
50×40	146.0	102.0

チーズ [型式 ; BMJ - T] JWVA G-90

異径チーズ [型式 ; BMJ - RT] JWVA G-90



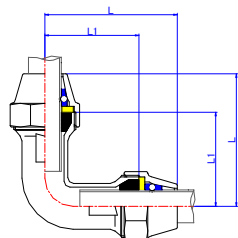
呼び径	継手寸法 (mm)	
	L	L1
20	81.0	57.0
25	84.0	60.0
30	91.0	69.0
40	96.0	74.0
50	101.0	79.0



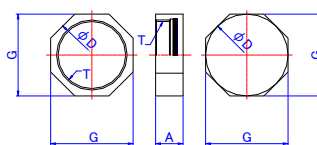
呼び径	継手寸法 (mm)			
	L	L1	L2	L3
25×20	84.0	84.0	60.0	60.0
30×20	87.0	89.0	65.0	65.0
30×25	90.0	88.0	68.0	64.0
40×20	87.0	92.0	65.0	68.0
40×25	89.0	92.0	67.0	68.0
40×30	92.0	96.0	70.0	74.0
50×20	87.0	95.0	65.0	71.0
50×25	89.0	95.0	67.0	71.0
50×30	92.0	99.0	70.0	77.0
50×40	96.0	99.0	74.0	77.0

90° エルボ [型式 ; BMJ - L] JWVA G-90

継手用キャップ [型式 ; BMJ - C] JWVA G-90



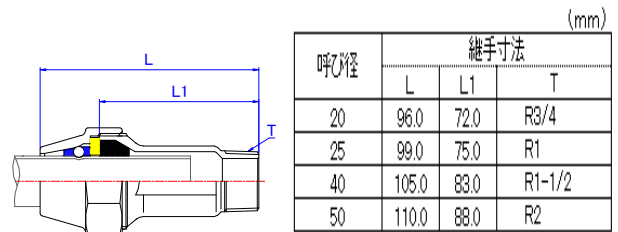
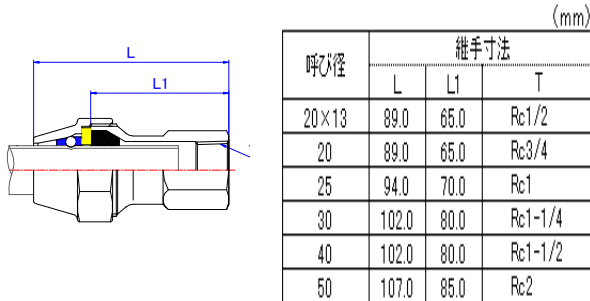
呼び径	継手寸法 (mm)	
	L	L1
20	84.0	60.0
25	88.0	64.0
30	95.0	73.0
40	100.0	78.0
50	103.0	81.0



呼び径	継手寸法 (mm)		
	G	A	T
20	42.0	14.0	M36-P2
25	48.0	14.0	M42-P2
30	58.0	16.0	M50-P2
40	67.0	17.0	M60-P2
50	72.0	17.0	M67-P2

めすアダプター [型式：BMJ - SV1] JWWA G-90

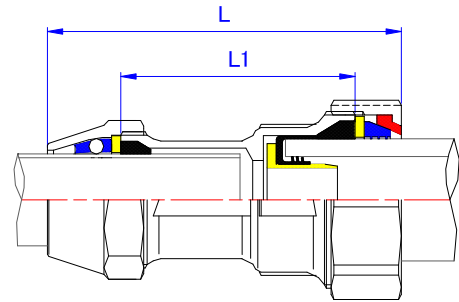
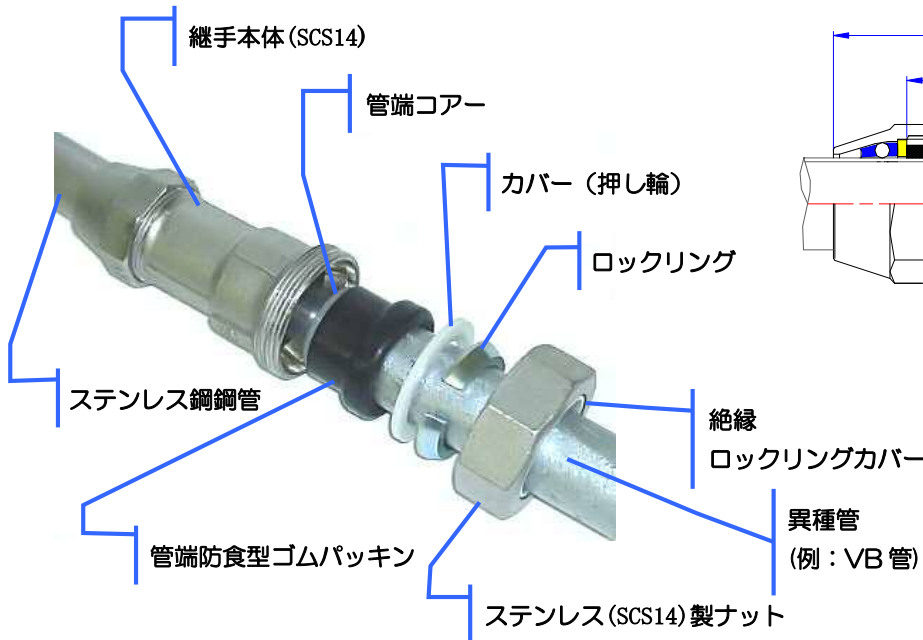
おすアダプター [型式：BMJ - SV2] JWWA G-90



異種管接続用継手 [型式：BMJ - AVS]

JWWA G-90

* 絶縁＝異種金属接触腐食防止の意を指す。



呼び径 (SUS×異種管)	継手寸法 (mm)	
	L	L1
20×20	114.0	78.0
25×20	114.0	78.0
25×25	115.0	84.0
30×30	123.0	89.0
40×40	122.0	91.0
50×50	122.0	91.0



- 異種管対応管種
 - VB・PB 管用 [本体表示：黒色 VB]
 - VD・PD 管用 [本体表示：緑色 VD]
 - HIVP・VP 管用 [本体表示：青色 塩ビ]
 - PE 管用 (1種・2種二層管) [本体表示：紫色 ポリ]
- * 本体は全管種共通、内部部品は管種別

■ 管種別口径ラインナップ

亜鉛メッキ鋼管用 VB・PB

ビニルライニング鋼管用 VD・PD

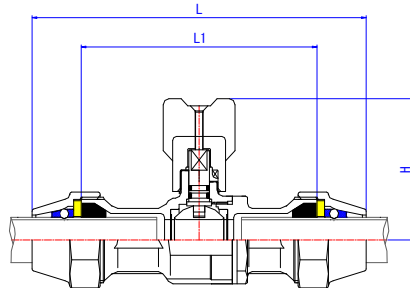
塩化ビニル管用 VP・HIVP

二層ポリエチレン管用 PE

型式	SUS管側		型式	SUS管側		型式	SUS管側		型式	SUS管側		
	VB側			VD側			VP側			PE側		
BMJ-AVS(VB) 	20		BMJ-AVS(VD) 	25		BMJ-AVS(VP) 	20		BMJ-AVS(PE) 	20		
	25				25			25			25	
		40			40			30			30	
		50			50			40			40	
		25		20			25	20			25	20

継手一体型止水栓 [型式 ; BMJ - B - SSP]

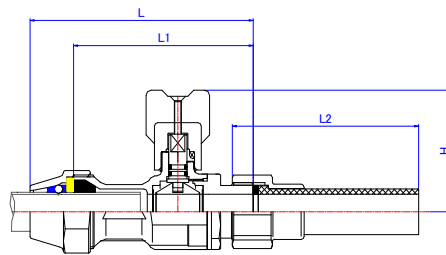
JWWA E-86



呼び径	止水栓寸法 (mm)		
	L	L1	H
20	173.0	125.0	69.0
25	182.0	134.0	73.0
30	188.0	144.0	93.0
40	200.0	156.0	99.0
50	213.0	169.0	109.0

継手一体型止水栓 [型式 ; BMJ - B - HIVP]

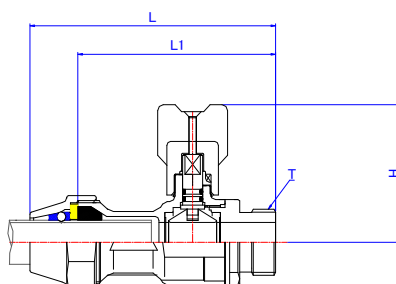
JWWA E-86



呼び径	止水栓寸法 (mm)			
	L	L1	H	L2
20	129.0	107.2	69.0	127.0
25	140.0	116.0	73.0	141.0
30	149.0	126.5	93.0	158.0
40	159.0	139.0	99.0	173.0
50	171.0	151.0	109.0	187.0

継手一体型止水栓 [型式 ; BMJ - B - VG]

JWWA E-86



呼び径	止水栓寸法 (mm)			
	L	L1	H	T
20	129.0	107.2	69.0	G1
25	140.0	116.0	73.0	G1-1/4
30	149.0	126.5	93.0	G1-1/2
40	159.0	139.0	99.0	G2
50	171.0	151.0	109.0	G2-1/2

接合

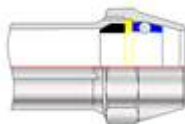
ステンレス鋼鋼管・波状ステンレス鋼鋼管との接合

≡ 管の溝付け無し施工 ≡

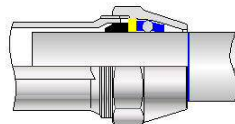


管端から『61 mm』の位置に差込み寸法線を表示します。

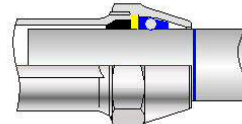
* 差込み寸法は 20Su～50Su まで共通。



継手のナットを適量ゆるめ、内部部品を少し遊ばせます。



管に表示した差込み寸法線が、ナットの端面に合うまで管を継手に挿入します。



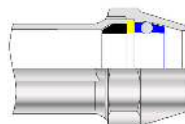
ナットを十分に手締めした後、パイプレンチ等で本締めをします。

≡ 管の溝付け施工 ≡

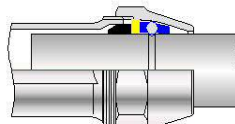


管端から『49 mm』の位置に専用ローラーで溝を付けます。

* 溝付け位置は 20Su～50Su まで共通。

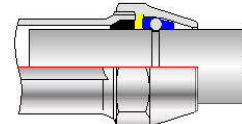


継手のナットを適量ゆるめ、内部部品を少し遊ばせます。



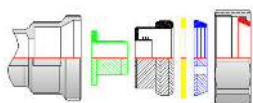
管を継手に挿入し、管の溝に止め金具のボールをはめ込みます。

* 溝にボールが入った手ごたえがあります。

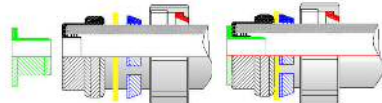


ナットを十分に手締めをした後、パイプレンチ等で本締めをします。

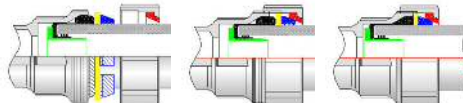
異種管接続用継手(AVS)の鋼管との接合



鋼管接合側のナットと各内部部品を分解します。



鋼管にナット・ロックリング・ワッシャを通した後に、一体型ゴムパッキンを管端に装着し、管端コアーを挿入します。



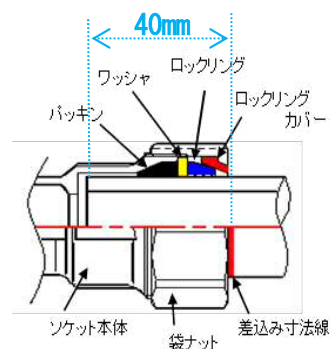
各部品を装着した管を継手に挿入し、ナットと継手のネジをはめ合わせ、ナットを十分に手締めをした後、パイプレンチ等で本締めをします。

【異種管接続用継手(AVS)の塩ビ管・ポリ管の接合】

塩ビ管・ポリ管を接合の際の差込み寸法は、20mm から 50mm の全口径とも右図のとおり **40mm** です。

接合前の管に差込み寸法線を表示して接合してください。

なお、管端が継手内部奥に突き当たらないように注意して接合してください。管端が突き当たると袋ナットの締め付け不足、漏水等のトラブルに繋がる可能性があります。



注意事項

【ステンレス管接合】

- ・継手に管を接合する際、差込み寸法または溝付け位置を必ず守ってください。
- ・管挿入の際、管端が突き当たらないようにしてください。

【鋼管接合】

- ・管端内外面の面取りを必ず行ってください。
- ・既設管を接合する場合、さびこぶ等を除去し、管外面を滑

【共通事項】

- ・管端のバリは確実に取り除いてください。
- ・継手に管を接合する際、配管の芯ズレは直してください。
- ・ナットと本体のネジのはめ合いは、確実に行ってください。ネジが1、2山程度しか入らない場合には、必ずはめ合いをやり直してください。ネジ噛みの原因となります。
- ・ナットは必ず手締めをしてから、本締めを行ってください。